

事務事業名	市立病院介護老人保健施設運営事業			会計	老健施設		事業種別	政策	開始	終了
H27担当課等名	市立病院介護老人保健施設	H27係等名	管理係	H26係等名		管理係				
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
	施策	35	高齢者福祉の推進							
目的	対象(誰・何を)	入所・短期入所・通所等の利用者				指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供する				対象指標		入所定員:ベッド数		
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者(65歳以上)の割合				対象指標		通所定員:人数		
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	施設入所利用率:% 入所利用者数/入所定員			95	93.7	95	95		
	成果指標	通所1日あたり利用者数:人			27	26.13	27	27		
定性目標										
事業概要	<p>市立病院介護老人保健施設は、在宅生活への復帰を目指し、機能訓練により、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことを目指している。入所希望者は、申込により施設内入所判定会において協議決定し、利用することができる。入所定員は、平成22年10月より50床から60床に、平成24年2月より60床から70床に、平成24年10月より70床から100床に増床、25年度からは通年100床で運営している。</p> <p>また、居宅支援事業として、通所リハビリテーション事業を実施。施設整備後の利用者拡大に伴い、22年6月から定員を20人から25人、24年4月より25人から40人として、居宅で生活している高齢者の支援を行っている。</p>									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> 入所及び短期入所におけるベッド利用率を年間を通じて、95%を目標とする。 通所の利用者拡大により、1日あたりの利用者数を平均27人以上を目標とする。 在宅介護支援事業は、ケアマネージャー2人体制で実施。 				入所・短期入所			定員100床/95床		
					通所リハビリテーション			定員40人/27人以上		
				在宅介護支援センター			78人/ケアマネ2人			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		659,239	692,959	648,227	682,400	特定財源(その他)…サービス収入、諸収入、繰越金 一般財源…一般会計繰入金 (老健運営事業については、事業費に人件費を含んでいます。)				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		514,239	547,600	522,868	522,554					
一般財源		145,000	145,359	125,359	159,846					
人件費計(千円)②		0		0						
正規職員所要時間										
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		659,239	692,959	648,227	682,400					
事業内容・目標達成状況の振り返り	入所については、ベッド調整が難しく、短期から長期への入所優先、入所期間の延長等の対策を講じた結果、年度後半は一定数を確保することができ、前年度と比して利用率、年間利用者数、収益はほぼ昨年度並みとなった。通所リハは、冬季に施設入所や体調不良による利用者の減員や新規登録者の伸び悩みもあり、年間利用者数、1日当たりの利用者数共に若干増加した。									
改革改善の考え方	①問題点	入所定員100床運営における健全経営のために、通年入所ベッド利用率95%、通所1日あたりの利用者数27人以上確保の方策と、100床運営のため増大した人件費を含む歳出経費の削減								
	②改革提案	入所は、入所者確保に向け医療機関や他事業所との連携を強化する。通所は、送迎範囲を拡大して利用者ニーズに応える。人件費は、年齢構成、正規と臨職の比率等中長期的視野に立った配置計画を策定し、段階的に見直しを図る。								